

種名	<p><u>マミチャジナイ</u></p> <p><u>Turdus obscurus</u></p> 												
	分類	スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科											
特徴	<p>秋の渡りの時期に観察される、白い眉斑を持ったアカハラに似た鳥。バイカル湖からカムチャッカにかけての地域で繁殖し、中国南部、フィリピン、インドネシアなどで越冬する。近縁のアカハラやシロハラより北方で繁殖し、越冬より南へ渡る。日本には渡りの途中、旅鳥として現れるが、西南日本では越冬することが稀にある。富士山麓などで繁殖した記録があるが変異個体ではないかといわれている。</p>												
生活	<p>シロハラ、ツグミなどより早く、9月下旬から10月上旬に姿を見せる。丘陵、山地の明るい林に多く、ミズキなどの木の実をよく食べる。市街地の公園などにも姿を見ることがある。出現期間が短いためか、観察記録は少ない。春の渡りの時期の記録は少ない。</p>												
声	<p>はっきりしたさえずりは日本では聞いたことがない。繁殖地のシベリアのバイカル湖畔では「キャロン、ホイチリリチーチリリー」とか「ホイヨ、チリリー」などと明るく朗らかなさえずりを響かせていた。音色はアカハラに似る。飛び立った時の地鳴きは「クワックワツ」である。</p>												
見分け方	アカハラやアカコッコによく似ているが、オス、メスとも白い眉斑がより明瞭にでる。												
時期	(月)	-	-	-	4	5	-	-	-	9	10	-	-
その他	全長(L) 22cm 翼開長(W) cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													